



2025年1月

宇和島市議会議員  
たけだもとすけ  
**武田元介**

武田元介ニュースレター Vol.41

**黎明**  
REI MEI

【プロフィール】

昭和36年1月生まれ 愛媛県宇和島市出身  
愛媛県立宇和島高等学校卒  
岡山大学資源管理理学研究室卒(学士)

昭和58年 藤加ト吉 営業本部/東京支店  
宇和島漬物食品株式会社(現職)

1994年 (社)宇和島青年会議所 理事長  
2000年 (社)日本青年会議所 愛媛ブロック会長  
2001年 宇和島市補助金等検討委員会 委員長  
2003年 宇和島市女性問題研究委員会 副委員長  
2004-5年度 宇和島ロータリークラブ 幹事  
2013年 宇和島市議会議員  
2015年 愛媛平成市議の会 事務局長  
市議会産業建設委員会 副委員長  
愛媛平成市議の会 監事  
市議会教育環境委員会 副委員長  
市議会厚生委員会 委員長  
2017-19年 市議会副議長  
2019-21年 市議会副議長  
2021-23年 市議会厚生委員会 委員長  
現職 宇和島トリアスロン協会 会長  
現職 愛媛県トリアスロン協会 副会長  
現職 NPO法人 移植への理解を求める会 理事  
現職 宇和島法人会 監事  
現職 宇和島市観光物産協会 理事

【趣味】マラソン・トリアスロン・家事・育児・読書



お浜公園安全確認



ゴミを減らそう



宇和中高齢者駅伝



猿田彦 一宮様



角が治りました



今度は壊されませんように



市民運動会@鶴島

あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の  
読者登録しませんか？～他人事でなく自分事～

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎月(年4回の予定)お届けいたします。  
是非、下記までお申し込みください。

メール [motosuke.takeda@gmail.com](mailto:motosuke.takeda@gmail.com)  
FAX 0895-24-5610

皆さんの声を聞かせてください  
メール [motosuke.takeda@gmail.com](mailto:motosuke.takeda@gmail.com)  
FAX 0895-24-5610

皆様で自主開催されるミニ集いや座談会に是非参加させていただけたらと思います。[ママ友が集まる会・ご近所やスポーツ仲間が集まる会]など、どんな会でもかまいません。  
是非伺わせていただいております。



④これだけの予算増額が在り、まだ更に上がりそうな「今」でも住民投票は必要と考えていないか  
【答弁 市長】これまで建替委員会から、そして市民の皆様方への説明会、そして議会の皆様方からも様々な御意見をいただきながら、これまで構想し、そして入札、残念ながら2回不調となりましたけれども、こういった経緯がございました。その中で、説明だけではなく、議会の皆様方からもこういった御承認をいただいて、今現実に動いている状況でございます。

そういった意味におきましては、やはりしっかりとしたプロセスを踏み、やっている。まさに、こういった場所でもお話をさせていただいているところでございますので、こういった議会とはまさにしっかりと対話をしながら、そういった住民投票までは必要ないものだろうと、その辺考えております。

【武田】私の考えと全く違うんです。例えば、40億円でやろうと言っていたことが、50億円近くになった。そして50億円を超えて、55億円近くになった。そういうそれぞれのタイミングで、住民の皆様が私たちの意見を聞いてくださいという声を上げ、法定数の署名が集まりました。そういう場合には、市民の意見を聞くのが私は民主主義だと思っています。

2 宇和島市太陽光発電設備の設置及び管理に関する条例の運用について

①6月4日発生した太陽光発電施設における火災について原因をどう捉えているか

②事故調査委員会の設置は考えないか

③宇和島市には、太陽光発電設備の設置及び管理に

関する条例の第26条(関係機関等との情報共有)があるが、その目的は、適正な設置及び維持管理が担保できる設備のみを認めることで、太陽光発電設備の安全性・信頼性の向上と災害の防止を図り、市民の生命・財産の保護と自然環境の保全を図ることとされる。本件について、市としての対策は、どう打つか

3 地震対策について

①市有施設の点検・対策をどうすすめるか

②吊り天井の危険性に対する認識と対策を問う

③地震のタイミングによっては大きな犠牲が発生していたことを重く受け止めて欲しい

4 災害時の下波遊子間の通行確保について

①必要性の認識は

【答弁 建設部長】下波と遊子を結ぶ道路ネットワークは、県道蔭下波線、同じく県道柿之浦下波線、市道松節線で構成されております。特に県道蔭下波線と市道松節線は市内中心部と地域を結ぶ生活道であり、また、地域の特産物である農水産物の出荷輸送路として地域産業の維持振興を支えている路線と言えます。さらに、近い将来発生が危惧されます南海トラフ地震のような大規模災害発生時におきましては、救援物資等の輸送路といった大変重要な役割を担う路線となっております。現在、県道蔭下波線につきましては、平成27年度より下波地区において、愛媛県に離合困難箇所の整備を実施していただいているところでございます。先ほど議員からの御説明もありましたとおり、山間部につきましては、土砂災害が発生しやすい箇所も数多く存在しており、また、見通しも悪く幅員も狭狭で、離合困難箇所が多く、4トン車以上の車両の通行が困難な状況となっているところでございます。

このため、大型車をはじめ、多くの交通が県道柿之浦下波線と市道松節線に集中している状況でございますが、市道松節線にある松節隧道も幅員が狭く、大型車の

離合ができない。また、歩行者や二輪車の安全な通行にも支障を来しており、さらには老朽化も進んでいる状況でございます。このようなことから、県道蔭下波線の早急な整備と、新たに県道蔭下波線と県道柿之浦下波線を結ぶトンネルを含めた新規バイパスの整備が災害時等の路線の二重化の確保と周辺地域の孤立対策からも必要ではないかと考えています。

②迂回路・トンネル等の費用対効果はどう計算されていますか

【答弁 建設部長】現時点におきましては、費用対効果の算定までは行っていませんので、今年度実施する交通量調査の結果と新規バイパス整備に必要な事業費が必要となるところでございます。これらことから、来年度以降予定しております概略設計の中で概算事業費の算出を行うこととしており、交通量調査の結果と合わせ、費用対効果の算出を行う予定としております。

5 命を守る支援を

①火災での死因について、ヤケドも怖いけれども、一酸化炭素中毒による窒息も怖い。つまり、逃げ遅れで亡くなるという言葉。逃げ遅れを防ぐための機械として有効なCO反応式の火災警報器がある。従来の煙火災警報器より29分も早く危険を知らせてくれるという。

CO検知機設置補助を要望します。

6 周辺道路整備について(第3弾)

①角の折れた牛鬼のモニュメントをどうするか

②丸山公園やお城山周辺の道をどう位置付けていますか

○詳細は、宇和島市議会のホームページにてどうぞ。  
○発言者の名前や発言内容(単語等)で検索できます。  
宇和島市議会の議会の模様は、U-CAT-FMのインターネット放送生放送があります。また、議事録も(公開までタイムラグがありますが)公開しております。  
と、ぜひご覧になってください。(答弁部分に掲載するため、報告が遅くなっております)